2017-18 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770 ROTARY CLUB OF IWATSUKI

since 1963

Rotary (

Weekly Report



クラブ・テーマ 「これまでに感謝 これからを創造」 Share vision

— The 55th anniversary

会 長 小林利郎 幹 事 出山知宏

例会場: 割烹「ふな又」 例会日: 木曜日 点鐘 12:30~13:30

事務所:さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 1m048-758-0680 FAX048-758-0681

http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小林利郎年度 第10回 通算2624例会

平成29年9月14日

会長挨拶

第55代会長 小林利郎

皆様こんにちは。

田畑委員長、RLIパートI修了証が届いています。そして明日15日にはパートⅡの受講ということでお疲れ様です。頑張って下さい。さて、先日の9日~10日において、55周年

記念事業として岩手県陸前高田市竹駒保育園

にAED設置の完了通知が現地業者様から届きましたので、中村正社会奉仕委員長を中心に会員7名にて検証並びに視察懇談にお邪魔して参りました。園長はじめ他の職員の方々の真摯なお話の中で、やはりまだまだ私達には想像も出来なかったようなこの災害の悲惨さをあらためて知り被災していない私達に、これから何が出来るかを深く考えさせられました。

本日は、国際奉仕・交流委員会のホストによる卓話となっております。原田委員長による30周年を迎える当地区と韓国姉妹地区との交流の経緯の概要説明、田口委員長による元米山奨学生ソ・シン君の中国雲南省 実家への訪問報告があります。出席者が少ない中ではございますが、よろしくお願いいたします。

圏図の行間

みんなの心を伝え

物とともに心を贈る

言葉とともに心をいただく

言葉に心を込めて

言葉と心のあいだに本当の会話がうまれる

言葉で心がかよいあうから

今まで気づけなかったことに

気づけることが

たくさんあるんですね

練りに練った言葉ではなく

お互いの心が

かよいあうことの

大切さを知る

最高のコミュニケーション …toshi

幹事報告

幹事 出山知宏

① 地区ロータリー財団より、グローバル補助金セミナーの案内が届いております。※10月24日(火)浦和コミュニティセンターパルコ9階第15集会室※登録料 1人3000円(お弁当付き)



- ② ロータリーの友事務局より、会報誌及び会員勧誘にも使える広報誌が届いております。(ロータリークラブについての案内等)
- ③ 地区より、2018~2019 年度地区役員推薦のお願いが届い ております。
- ④ 地区青少年奉仕部門より RYLA 研修参加者募集のご案内 が届いております。
 - ※今年度のテーマは、『埼玉再発見』だそうです。
- ⑤ 大宮西 RC・岩槻東 RC 様から 9 月の例会案内、大宮北 RC 様からは 9 月~11 月 3 τ 月間の例会案内がそれぞれ届いております。
- ⑥ 大宮北東 RC 様より週報が届いております。 ※8 月 29 日の移動例会では、さいたま造幣局へ行かれた ようです。 また、第46清水ガバナー補佐をはじめとして、会員の
- ⑦ 公益財団法人埼玉県腎・アイバンク協会より、第 32 回 埼玉県『目の愛護デー』の開催についてご案内が届いて おります。
- ® さいたま観光国際協会より、さいたま市花火大会協賛の 御礼が届いております。

表彰

RLIパートI修了証

先日開催されましたロータリー・リーダーシップ研究会に、田畑寛樹会員が参加し、積極的に学んでこられました。パー2も引き続きよろしくお願いします。

ご家族も参加されたようです。



委員会報告

社会奉仕委員会委員長 中村 正

・岩手県陸前高田市の竹駒保育園について、 AED設置支援を目的とする現地視察報告。 9/9~9/10、委員会を含め、会員7名にて 現地を確認して参りました。市内も少しず つ復興してはいますが、まだまだ支援は必 要のようです。



・本日例会終了後、例会場において、社会奉仕委員会の炉



辺を開催致しますので、会長・ 幹事はじめ委員の方はご出席を 宜しくお願い申し上げます。 議題は植樹について。

◆ 次回の例会 ◆ 平成29年9月21日(木) 復興支援報告(竹駒保育園) 点鐘 12:30 会場 ふな又

日韓親善会議

国際奉仕·交流委員会委員長 原田晃博

友好地区30年の歩み

これまでの経緯ですが、この日韓友好事業 を始めた故金子雅英パストガバナーの手記が 見つかりましたので紹介したいと思います。

『1987 年 3750 地区がソウルから分割し、こちらも 1987 年に埼玉が 2 つに分割して 2770 地区となりました。

韓国の同期のガバナー(方炫氏)との話し合い、我が地区のパストガバナーとの話し合い、大変な努力を致しました。 韓国と日本の若者達との交流が出来れば、大変貴重な経験 となり若者をより大きく育てる事ができるという思いでいっぱいでした。最初にローターアクトから始まりました。 当時、ビザを取るのが厳しく困難を極めました。交換事業 を通じての苦労も多く、国民性の違い、文化の違い、生活 習慣の違いでした。最も大きい原因は過去の出来事からく る様々な事です。

しかし、続ける事で次第にお互いが打ち解けて来たことは 時間とお互いの人間性、心の持ち方が変わって来たからに 外ならないと思います。人間、総て平等、急がず、騒がず、



怠らず、謙虚な気持ちを持ち続けて行動すれば平和と幸せが約束されると確信しています。』

以上の様な事が書いてありました。継続は力なり! これからも両地区がお互いに努力しながら発展していく事を願っております。

元米山奨学生ソ・シン君の故郷訪問

国際奉仕·交流委員会委員 田口雅弘

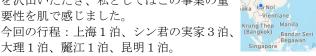
8月11日~20日にかけて、シン君の実家がある中国雲南省屏石に行ってきました。

5年前、クラブ創立 50 周年の時に米山奨学 ■ 生にシン君が合格し、当クラブがホストとして受け入れを致しました。 2013 年 4 月のクラブ創立 50 周年式典に御招待したシン君のお母様が帰国の時に「中国に行きます」と約

昆明の空港に着くと、お父様と親戚の方が出迎えに来てく

れました。実家に着くと、親戚中の方々が 集まり盛大に歓迎してくれました。シン君 の日本のお父さんという感じで感謝の言葉 を沢山いただき、私としてはこの事業の重 要性を肌で感じました。

束し、今回訪中することにしました。







中国・雲南省にあるソシン君の実家は3階建てでゲストルームを備えた一軒家。大勢の親戚も歓迎してくれました。





中国の巨大な建造物は圧巻です。(左は空港)





ソシンくんの家族と共に観光地へ。







スマイルBOXより

メンバー(50 音順)

菊地 廣 小林利郎 鈴木 隆 鈴木真樹 関根信行 高橋真理以 田口雅弘 田畑寛樹 出山知宏 中村 正 原田晃博 三浦宣之

☆ たくさんのご芳志ありがとうございました

| スマイル報告 | | | | |
|-----------|-----------|--|--|--|
| 本日のスマイル合計 | 14,000 円 | | | |
| 年間累計額 | 355,000 円 | | | |

| 出席報告 | | | | |
|------|------|-----|--------|--|
| 出席数 | 免除者 | MU | 出席率 | |
| 12 | | 3 | 65.22% | |
| | ширж | 出席数 | 出席数 | |

発 行 会報・広報委員会 委員長 田畑寛樹 副委員長 増岡昌行 委員 三浦宣之 高橋真理以